令和元年度　第３回　栃木支部評議会議事概要報告(速報)

開　催　日	令和元年 11 月 27 日（水）　14：00～15：30
開 催 場 所	栃木支部　会議室
出 席 議 員	東評議員、薄井評議員、金野評議員、鈴木(憲)評議員、 鈴木(徹)評議員、田仲評議員、横倉評議員、若月評議員（五十音順）
議　　題	

議題１．令和２年度保険者機能強化予算事業について

議題２．インセンティブ制度について

議題３．その他（報告事項）

議 事 概 要 (主な意見等)	

各議題につき、事務局より資料に基づき説明。

議題１．令和２年度保険者機能強化予算事業について

（学識経験者代表評議員 B）

事業計画について、その効果（見込）等を示すことは非常に良い。実施する事業により保険料にどのように影響するのか、実施率等よりも金額で示した方が加入者に対して響くのではないか。様々な手段を使い、広く周知することが大切である。

（議長）

効果額や実績見込等を公表や広報することはできるのか。

→【支部の回答】

事業の結果は様々な要因が関連しているため、一つの事業の効果として示すことは非常に難しい。加入者の理解を促進するためには具体的な実績や効果額を示すことはとても重要であると認識しているが、誤解をまねかないような表現で示していきたい。

（事業主代表評議員 C）

広報の成果はすぐに出るものではないため、長い目で考えた方がよい。また、重症化するリスクが高い等のショックな内容も含め一般の人にも分かりやすい広報をしてほしい。

（被保険者代表評議員 B）

医療費の問題は個人の問題ではなく社会の問題であるということを広く伝える必要がある。

（議長）

支部の広報のあり方について、方向性はあるのか。

→【支部の回答】
特にお知らせしたい内容については、マスコミへのプレスリリース、事業所への訪問を継続して行い、広報していく。

議題２．インセンティブ制度について

（事業主代表評議員 A）
指標 4（医療機関への受診勧奨を受けた要治療者の医療機関受診率）について、来年度予算を割いているので、成績が良くなるのではないかと期待している。

→【支部の回答】
要治療者の受診率について、栃木の成績は悪いが、各支部で大きく差がついているものではない。そのため、取り組めば順位は上がるものだと認識している。文書、電話、面談での受診勧奨等重層的なアプローチで取り組んでいく。

（被保険者代表評議員 B）
インセンティブ制度の結果を見てみると、支部によって突出しているところがある。栃木支部においても重点的に取り組めば成績が上がりやすいのではないか。

→【支部の回答】
指標 1（特定健診等の受診率）、指標 4（医療機関への受診勧奨を受けた要治療者の医療機関受診率）が弱いため、予算をかけ重点的に進めていく。また、指標 2（特定保健指導の実施率）は良い方向に向かっているため、さらに伸ばしていけるよう取り組んでいく。

議題 3．その他

※報告・説明事項のみ
・協会けんぽに係る主な動き等について
・令和 2 年度保険料率について（支部評議会における主な意見）

特 記 事 項
・次回、令和 2 年 1 月 16 日（木）に開催予定。